

～安心・安全なNAGOYAをめざそう～

KOMEI NAGOYA NEWS

公明党
名古屋市議団ニュース

vol.
97

【発行者】
公明党名古屋市議員団
名古屋市中区三の丸三丁目1-1市役所公明党控室
TEL052-972-2051 FAX052-972-4189



地下鉄名古屋駅の 床サインを視察！

誰もが利用しやすい
地下鉄を！

公明党名古屋市議団は令和7年10月2日、地下鉄名古屋駅に新たに設置された床面案内表示について視察し、利用状況などの説明を受けました。この床サインは、東山線・桜通線の乗換えをはじめ、他社線への移動を分かりやすく案内することを目的として、令和7年8月に整備が完了したものです。

市議団は令和5年11月定例会において、混雑時に天井案内が見えにくく、乗換えに迷うとの市民の声を受け、床面への分かりやすい案内表示の必要性を提案し、誰もが安心して移動できる環境整備を求めました。

床面に大きく表示された誘導サインにより、乗換動線の把握が容易になり、ホームでの乗り降りもしやすくなったことを確認しました。今後も市議団は、皆様が行き交う中で安心して実感できる取り組みを、着実に進めてまいります。

主な内容

- 9月11日定例会個人質問から(2面～5面)
- 要望
- 「国の総合経済対策を踏まえた物価高騰対策に関する緊急要望」(6面)
- 実績
- 女性の健康相談窓口なごエールがスタート(6面)

アジア・アジアパラ
競技大会までまもなく！

「応援ID」で大会をもっと身近に！

「応援ID」とは、大会に関わる皆さまと「応援」をテーマにひとつになり、出場選手の応援や大会を盛り上げるための愛知・名古屋2026大会オリジナルのIDです。

「応援ID」をご登録いただくと、出場選手やみどころ、各種イベントやグッズなど、大会開催に向けて、より身近に楽しめる情報が届けられます。

また、愛知・名古屋2026大会観戦チケットの購入手続きには、「応援ID」の登録が必要となります。

登録方法

- ① 愛知・名古屋2026大会公式チケット情報サイトにアクセスする。
- ② 連絡先等(氏名、メールアドレス、住所等)を登録する。



大会期間
2026年10月18日(日)～10月24日(土)
第5回アジアパラ競技大会
(2026/愛知・名古屋)
公式チケット情報サイト



大会期間
2026年9月19日(土)～10月4日(日)
第20回アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)
公式チケット情報サイト



法律
相談

法律相談予約はこちらまで
TEL052-972-2051

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

公明党名古屋市議員団ホームページ
<http://www.komeinagoya.jp/>



GIGAスクール端末の更新に伴う個人情報漏えい発生防止策について質問！

小中学校における一人一台端末15万台の更新が近づいていることから、個人情報漏えい発生に対する防止策について質問し、市からは国の定めるガイドラインに基づき策定した教育情報セキュリティ対策基準とし、端末内のデータを適切に消去したうえで処分し、個人情報漏えいを起こさないよう、万全を期して取り組むとの答弁を引き出しました。



GIGAスクール端末の更新を契機とした環境学習について質問！

小中学校の一人一台端末の更新に伴い、破棄する端末は貴重なレアメタルが含まれている大事な資産であることを児童生徒に周知してもらう為、廃棄事業者が行っているパソコンの解体授業を取り入れてはどうかと質問しました。市からは、今回の更新を契機に環境意識を高めることに繋がるため、専門知識をもつ企業・団体と連携し、実現に向けて取り組むとの答弁を引き出しました。



GIGAスクール端末の更なる活用に向けた対応について質問！

小中学校の一人一台端末の活用について学校や学級によって格差があり、今後の更新に伴い、新しい端末やアプリの導入は益々、格差が生まれる可能性があり、その為の対応をどのようにしていくのかについて質問しました。市からは、管理職や情報教育担当者への研修を行いニーズに応

じて、指導主事を派遣し、ICTに苦手意識のある教員も含めて、更なる活用に取り組むとの答弁を引き出しました。



ごみ処理工場における環境学習としての見学体制について質問！

ごみ処理工場での小学生等への工場見学については、重要な環境学習の機会であることから、例えば南陽工場に隣接する藤前干潟に関する展示や、民間事業者のアイデアを取り入れた楽しく学べる工夫を検討するよう質問しました。市からは、これから改修予定のごみ処理工場において民間事業者のアイデアを取り入れ環境問題への関心を高められるよう取り組むとの答弁を引き出しました。



浸水被害軽減策の普及啓発について質問！

平成12年9月の東海豪雨から25年が経過。激甚化する豪雨に備え浸水被害軽減策の取組を市上下水道局に問うとともに、排水能力を低下させないため雨水ますの点検・清掃が重要であることから、本市の点検清掃活動に加え、市民への啓発も促しました。また雨水の貯留・浸透により河川・下水道への流出を抑える取組についても質したところ、市からは、様々な媒体を活用し普及啓発に取り組み、官民ともに新築・増改築の機会に整備ができるよう関連各局の着実な取組を働きかけるとの答弁がありました。



公民連携による住まいの確保の取組について質問！

住まいに関する課題は複雑化・多様化しており、制度のはざまに陥ってしまう方も多く、住宅の確保が困難になっている現状があります。

こうした中、市内の民間企業が母子世帯向けに低家賃の「アフォーダブル住宅」を提供していることを踏まえ、多様な主体と連携した居住支援のさらなる充実を図り、生活の基盤である住宅供給を進めるべきと質問しました。市からは、さまざまな強みをもつ民間事業者と意見交換を行い、新たな取組を検討していくとの答弁がありました。



家庭の天ぷら油をSAFとして飛行機の燃料にすることを提案！

公明党の提案で2008年に開始した家庭の天ぷら油をスーパーで回収してバイオディーゼル燃料としてごみ収集車や市バスで利用する事業について、世界で広がるSAF(持続可能な航空機燃料)への活用を提案しました。現在、市では年間約6万リットルの回収をしており、市民と集めた油で飛行機が飛ぶことはとてもワクワクすることから、既にSAFの導入に取り組んでいるセントレア(中部国際空港)との協議を提案し、市は検討すると答弁しました。



民間事業者の熱中症対策に支援を！

名古屋市は今年の夏に過去最多の猛暑日数を記録した全国屈指の「猛暑都市」です。国が6月から事業主に熱中症対策を義務付けたことを受け空調服などの装備や設備の導入が進む中、費用負担に苦しむ事業者に対して市独自の支援策を求めました。市長からは厳しい暑さで利益に影響が出た中小企業への融資制度を紹介するとの答弁にとどまったため、危険な暑さの中で懸命に働き納税して下さる労働者等の大変さをもっと知って支援策を検討してほしいと強く要望しました。



家庭で不用となった園芸用土のリサイクルを提案！

家庭園芸人口は全国で約3,000万人と言われ(民間会社調査)、多くの市民も楽しんでいます。環境局が示す不用となった園芸用土の処分方法だけでは不十分であるため、民間のホームセンター(カインズ)が進める「園芸用土の水平リサイクルシステム」と連携することを提案しました。不用園芸用土から不純物を除去し空袋に入れて店舗に持ち込むと焼成・殺菌した後に土としてリサイクルされます。市は早期の実施に向けて協議すると答弁しました。



教員による性暴力防止対策について質問！

近年、教員による盗撮などの不祥事が相次ぎ、教育現場への信頼が揺らいでいる状況を踏まえ、教員による性暴力を未然に防ぐための取組について質問しました。市からは、性暴力の専門家による知見を取り入れた研修の実施を進めるとともに、相談通報制度の形態など、そのあり方についてプロジェクトチームで検討を進めるとの答弁がありました。また教育長からは、性暴力を決して発生させないという“不退転の決意”で取り組むとの答弁がありました。



産後ケアの受け皿拡充と市大病院での実施について質問！

産後の母親は心身ともに大きな負担を抱えており、安心して利用できる産後ケアの体制整備は急務です。現場では受け皿不足や24時間体制の負担が大きく、事業者の運営が厳しい状況が続いています。そこで、受け皿拡充と事業者支援の強化に加え、名古屋市立大学病院での宿泊型産後ケアの実施を求めました。市からは必要な支援の検討に加え、市大病院での実施に向け調整を進めるとの前向きな答弁がありました。



介護未経験者等を生かす介護人材確保について質問！

本市では2040年に高齢化率が30%を超え、介護ニーズの高い85歳以上人口も増える見込みです。人材不足が深刻化する中、介護未経験者でも関われる周辺業務やボランティアを広げ、多様な人材が介護に触れる機会づくりの重要性と、国の方針を踏まえた本市の今後の取組方針について質問し



ました。市からは「なごや介護の日フェア」などを通じた介護施設等とのつながりづくりの検討と、次期「はつらつ長寿プラン」での人材確保・定着策について検討するととの答弁がありました。



プレパパへの支援の充実について質問！

男性の育児参画が広がる一方で、父親は妊娠前から情報に触れる機会が少なく、不安を抱えたまま育児を迎えるケースもあります。父親になる方が妊娠から必要な情報に触れ、心構えを整えられるよう、本市がどのように支援を見直し、プレパパ支援を充実させていくのかについて質問しました。市からは、講座内容の更なる工夫や、父親が自らアクセスしやすい形で情報提供を進めるなど、支援の充実に努めるとの答弁がありました。



不登校児童生徒支援に係る好事例の学校間での共有について質問！

本市では、不登校児童生徒への段階的な支援やICTを活用した柔軟な学習、教室以外の居場所づくりなどにより、生徒と先生の信頼回復や登校につながる好事例が生まれています。このような好事例は、さらなる支援の充実や教職員の負担軽減に資すると考えられることから、各学校に留めることなく全市的に共有してはどうかと質問しました。市からは、各学校の好事例を管理職等の会議や各種研修の場で紹介するなど、全市的な情報共有を図っていくと回答がありました。



孤独・孤立支援に向けたつながりサポーターの普及について質問！

国が推進するつながりサポーターは、地域に暮らす市民が、孤独・孤立につながるサインに気づき、さりげなく声をかけ、必要な支援につなぐ日常の支え手になることを目的としており、本市でも、困りごとを抱えた方が声を上げやすい社会の実現を目指すため、その普及を進めてはどうかと質問しました。市からは、本市の地域福祉活動や相談窓口等の情報を養成講座テキストに盛り込み、孤独・孤立支援ポータルサイトに掲載するなど、つながりサポーターの普及・啓発に取り組むと回答がありました。



不登校離職について質問！

不登校の子どもが増加している中、不登校の子を持つ親の就労が困難になる「不登校離職」が社会課題になっていることから、教育委員会に対し不登校離職への認識と子どもが不登校になっても働きやすい環境づくりについて質問しました。教育長からは市の調査で不登校の子の親の約4割で就労への影響が出ていることが分かったとして、保護者への支援にとどまらず社会全体で支えていくため企業等に対して不登校とその家庭への理解促進と支援の協力をお願いしていくと答弁がありました。



空地の適正管理について質問！

地域で世代交代が進む中で空地が増えていきます。中には長期間放置されて雑草や樹木の繁茂、害虫の発生や隣地への樹木等のはみ出し、景観・治安の悪化、火災の誘発など近隣住民の迷惑になっているケースがあります。所有者等が誠実に対応しない場合、現行の制度では実効性が乏しく解決に

至りにくいことから空地の適正管理を促進する実効性ある新しい条例の制定について質問しました。スポーツ市民局長からは条例の制定について検討するととの答弁がありました。



蒲郡市立ソフィア看護専門学校の名古屋市立大学化について質問！

「名市大に蒲郡キャンパスができる」ことを知る市民は多くありません。名市大は明治17年設置の名古屋薬学校を淵源として昭和25年に大学化されてから75年間の長きにわたって名古屋市民の真心と税金に支えられています。蒲郡市から看護専門学校の定員割れを理由に大学化したいとの相談があり令和7年3月に蒲郡市と名市大そして名古屋市の間で協定が結ばれました。令和9年度設置目標の蒲郡キャンパスについて市民への丁寧な広報を求め、市からは応じるとの答弁がありました。



名古屋大学北千種キャンパス等の学生食堂のサービス向上について質問！

名市大の4つあるキャンパスのうち千種区にある北千種キャンパスの学食はメニュー数が他に比べて少なく学生の不満になっていたため改善を求めました。名市大を所管する総務局長から、学食の運営事業者が実施しているアンケートでは北千種だけでなく他のキャンパスでもメニュー数への不満が多かったことから早期にメニュー数を増やす準備を進めるとの情報提供がありました。学生を大切に「学生第一」の名市大であってほしいと要望しました。





「国の総合経済対策を踏まえた物価高騰対策に関する緊急要望」を行いました

公明党名古屋市議団は12月5日、広沢市長へ「国の総合経済対策を踏まえた物価高騰対策について緊急要望」を行いました。食料品や光熱費など、日々の暮らしに直結する支出が増加する中、多くの市民から不安の声が寄せられています。

こうした状況を受け、負担軽減の実感できる施策の必要性を訴え、以下の7項目について市としての対応を求めました。



1. お米など食料品の物価高騰に対する負担軽減策の実施
2. 公的年金のみで生活している高齢者のみ世帯への支援
3. 住民税非課税世帯やひとり親世帯など低所得世帯への支援
4. 高校生以上の子どもを育てる世帯への支援
5. 公立学校等給食費について無償化など負担軽減策の実施
6. 生活基盤を支える上下水道料金の負担軽減策の実施
7. 省エネ家電等への買い替え促進支援



市長からは、提案内容を踏まえて、速やかに対応できるよう検討する旨の回答がありました。

実績

女性の健康相談窓口「なごエール」がスタート!



名古屋市では、女性の健康に関する悩みを気軽に相談できる新たな窓口「なごエール」が開設されました。思春期・妊娠・出産・更年期など、ライフステージごとに生じる心身の不調について、看護師や助産師など専門職が対応します。電話やLINEを通じた相談も可能で、24時間受付にも対応しています。

公明党名古屋市議団は、これまで議会で女性の健康支援体制の充実を求め続けてきました。今回の「なごエール」開設は、その働きかけが形となったものです。市民の皆さまが一人で悩みを抱えず、安心して相談できる体制づくりを、これからも推進してまいります。

ご相談はお気軽に

- ★ 保健・医療の専門職が対応
 - ★ 忙しくても、いつでも相談できる
 - ★ 匿名・無料だから安心して相談できる
- ※通話・通信料は利用者の負担となります

TEL **050-3665-2421**

水曜日 19:00～23:00

日曜日 14:00～17:00

24時間
相談受付中

LINE



知ってほしい！女性の健康

オンラインでは、男性・女性・幅広い世代に知ってほしい女性の健康問題や解決のヒントを発信中

ポータルサイト <https://nagoyell.jp/>

なごエール

